

5 【犯罪のない安全で安心なまちづくりについて】

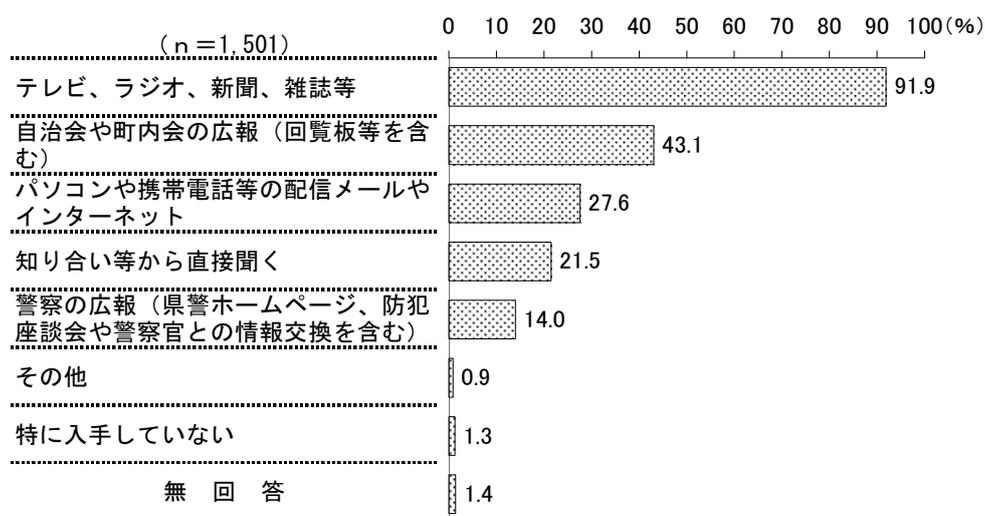
(1) 身近な犯罪や防犯に関する情報を入手する方法

◇「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」が9割を超える

問15 あなたは、身近な犯罪や防犯に関する情報を主にどこから入手していますか。

(〇はいくつでも)

<図表 15-1> 身近な犯罪や防犯に関する情報を入手する方法



身近な犯罪や防犯に関する情報を入手する方法を聞いたところ、「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」（91.9%）が9割を超えており、以下、「自治会や町内会の広報（回覧板等を含む）」（43.1%）、「パソコンや携帯電話等の配信メールやインターネット」（27.6%）、「知り合い等から直接聞く」（21.5%）などが続く。（図表 15-1）

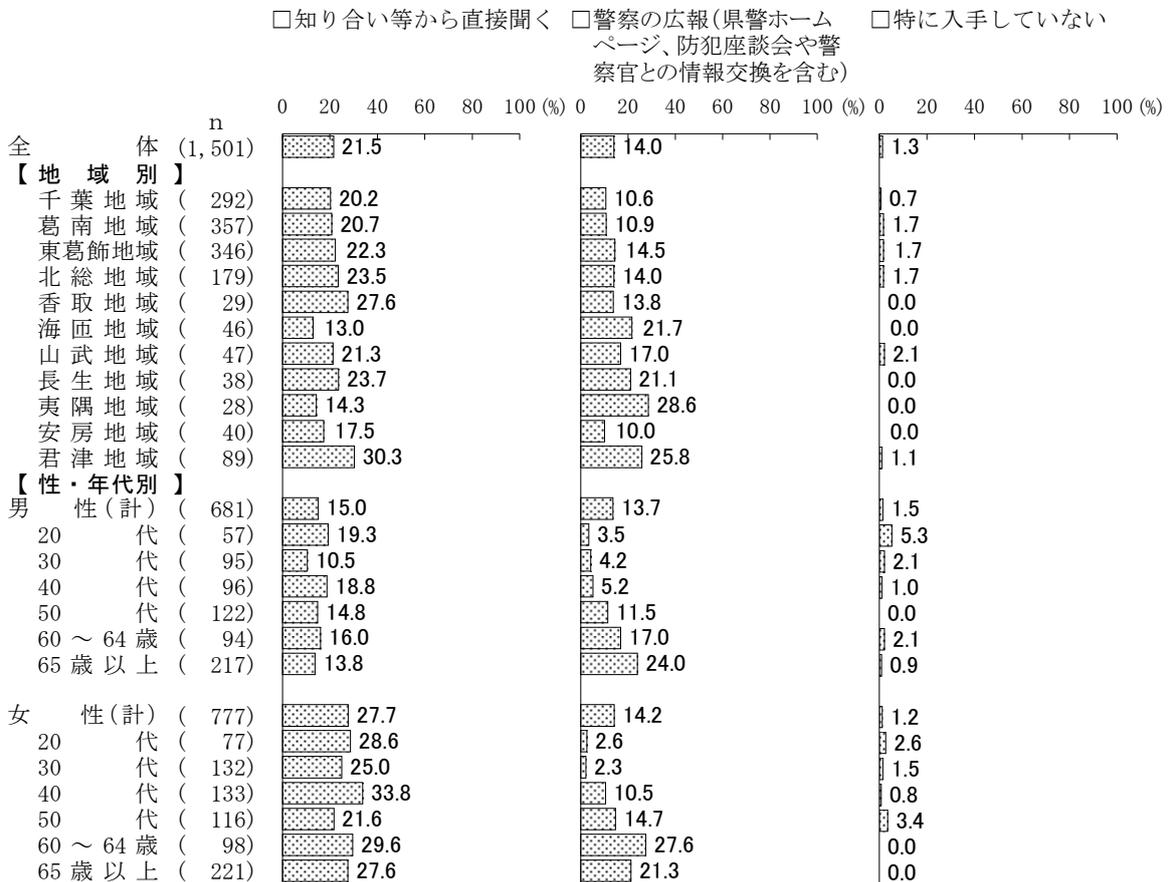
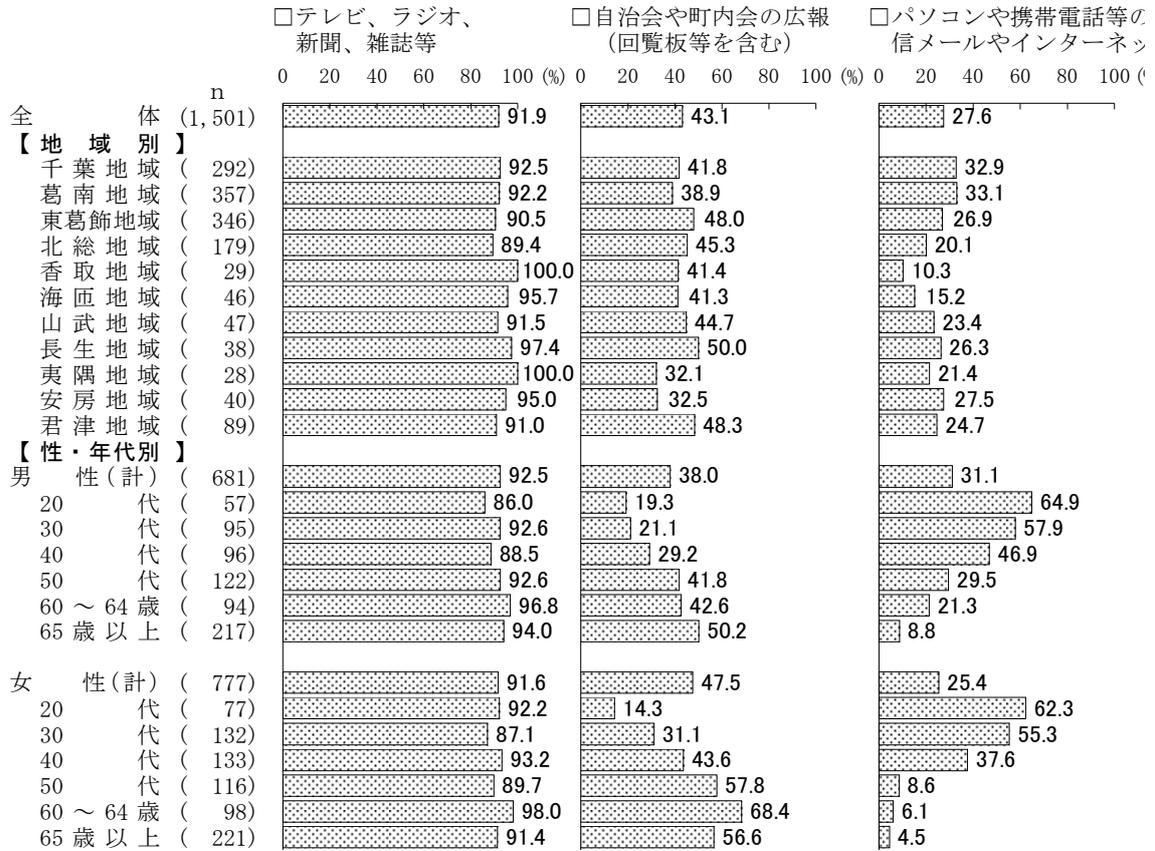
【地域別】

地域別にみると、「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」は北総地域をのぞいたすべての地域で9割以上となっている。（図表 15-2）

【性・年代別】

性・年代別に見ると、「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」は男性60～64歳（96.8%）、女性60～64歳（98.0%）で他の年代と比べ高くなっている。（図表15-2）

<図表 15-2> 身近な犯罪や防犯に関する情報を入手する方法／地域別、性・年代別

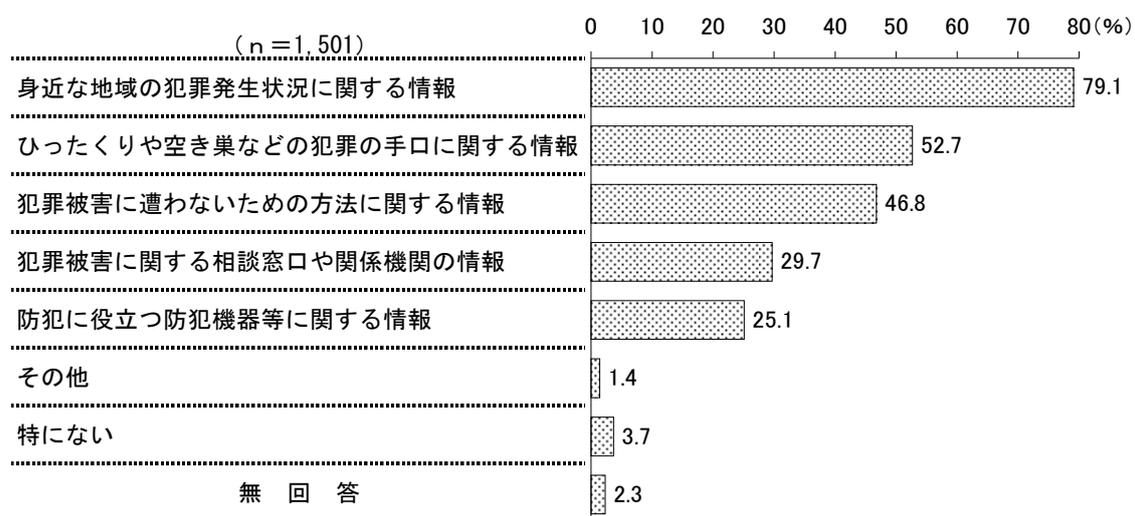


(2) 提供してほしい犯罪情報

◇「身近な地域の犯罪発生状況に関する情報」が約8割

問 16 あなたが提供してほしい犯罪情報は何ですか。(〇はいくつでも)

<図表 16-1> 提供してほしい犯罪情報



提供してほしい犯罪情報を聞いたところ、「身近な地域の犯罪発生状況に関する情報」(79.1%)が約8割となっており、以下、「ひったくりや空き巣などの犯罪の手口に関する情報」(52.7%)、「犯罪被害に遭わないための方法に関する情報」(46.8%)などが続く。(図表 16-1)

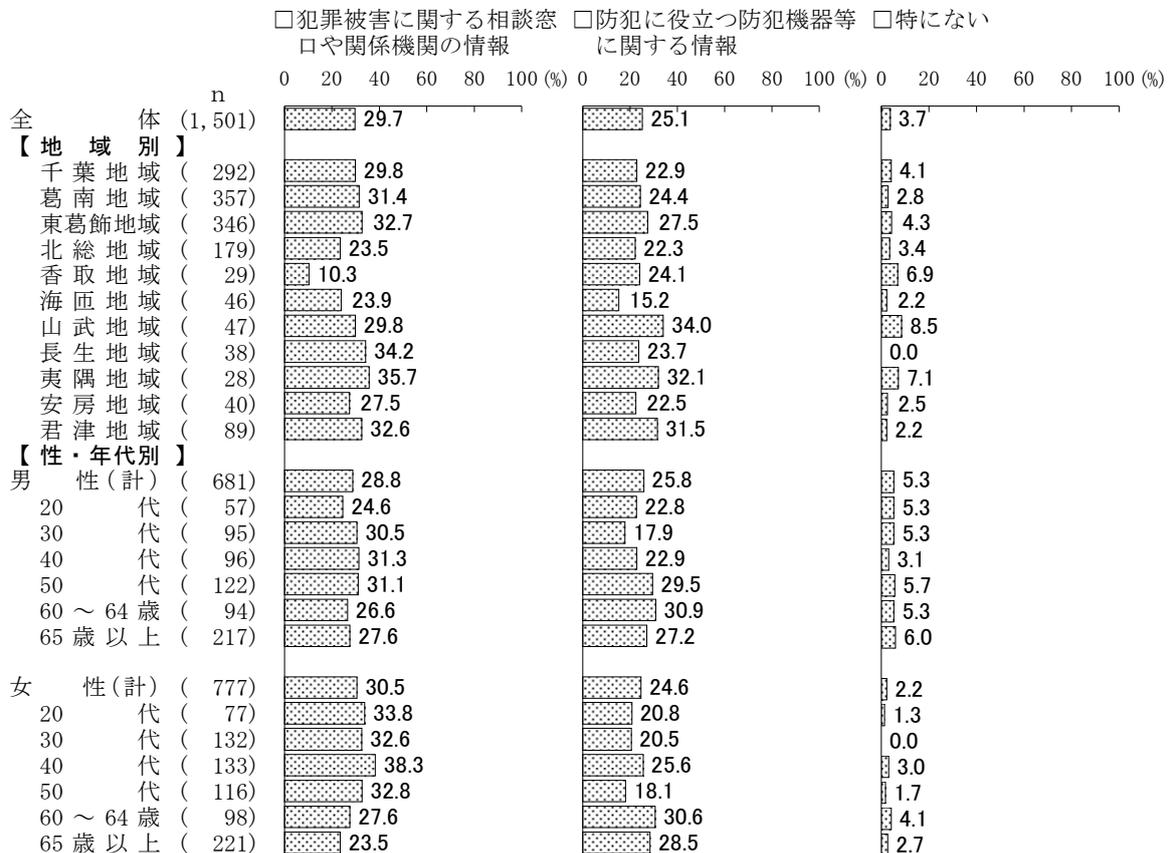
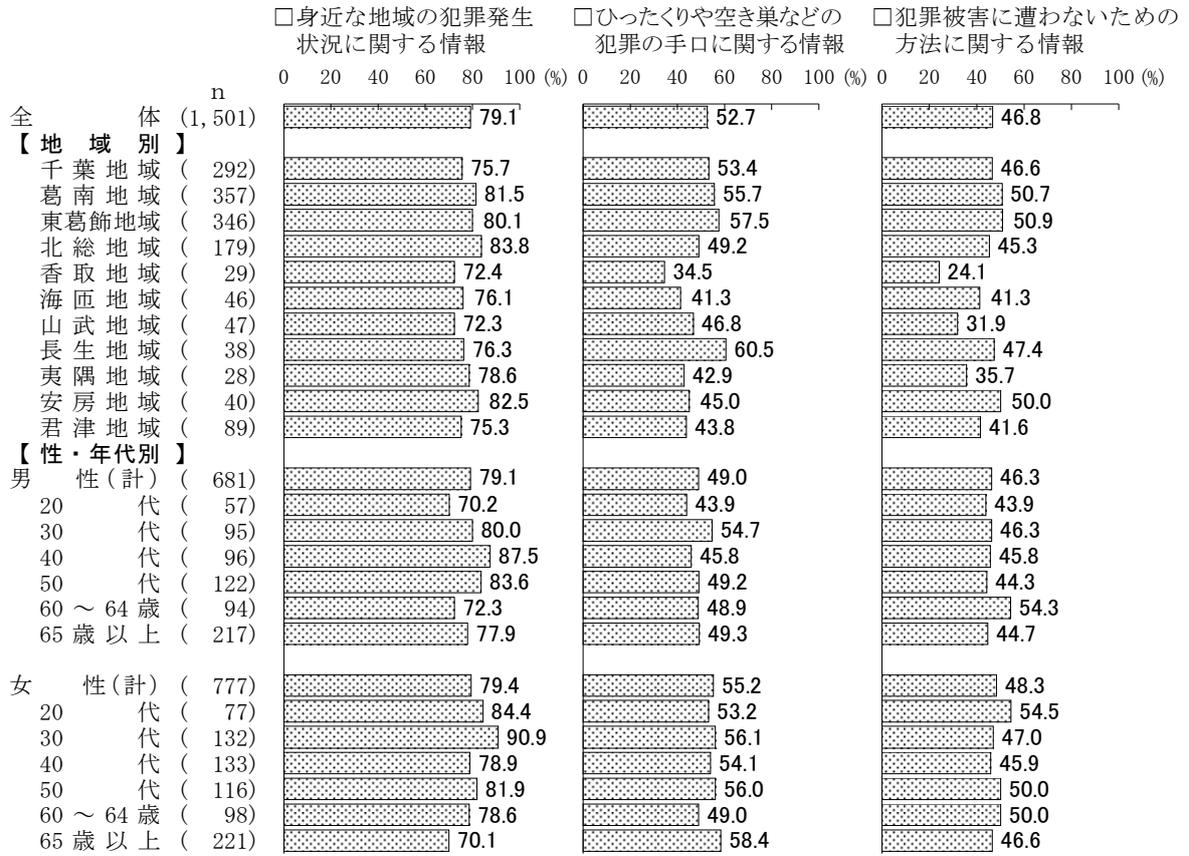
【地域別】

地域別にみると、「身近な地域の犯罪発生状況に関する情報」は“北総地域”(83.8%)が8割台半ばで他の地域と比べて高くなっている。(図表 16-2)

【性・年代別】

性・年代別に見ると、「身近な地域の犯罪発生状況に関する情報」は男性40代(87.5%)が約9割で他の年代に比べて高くなっている。また、女性30代(90.9%)が9割で他の年代と比べて高くなっている。(図表16-2)

<図表 16-2> 提供してほしい犯罪情報／地域別、性・年代別



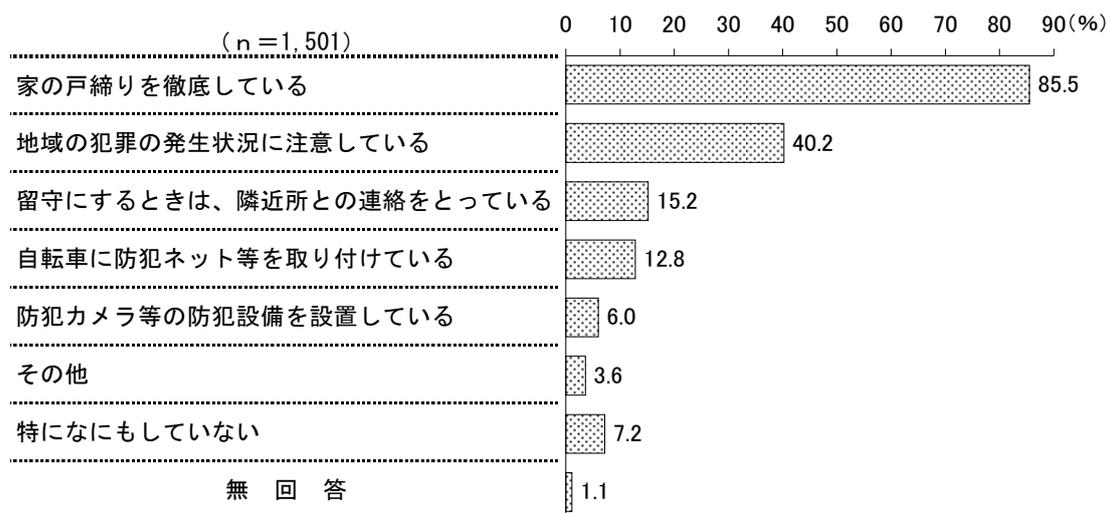
(3) 犯罪に遭わないために心がけていること

◇「家の戸締りを徹底している」が8割台半ば

問17 あなたは、今、犯罪に遭わないためにどのようなことに心がけていますか。

(〇はいくつでも)

<図表 17-1> 犯罪に遭わないために心がけていること



犯罪に遭わないために心がけていることを聞いたところ、「家の戸締りを徹底している」(85.5%)が8割台半ばとなっており、以下、「地域の犯罪の発生状況に注意している」(40.2%)、「留守にするときは、隣近所との連絡をとっている」(15.2%)、「自転車に防犯ネット等を取り付けている」(12.8%)などが続く。(図表 17-1)

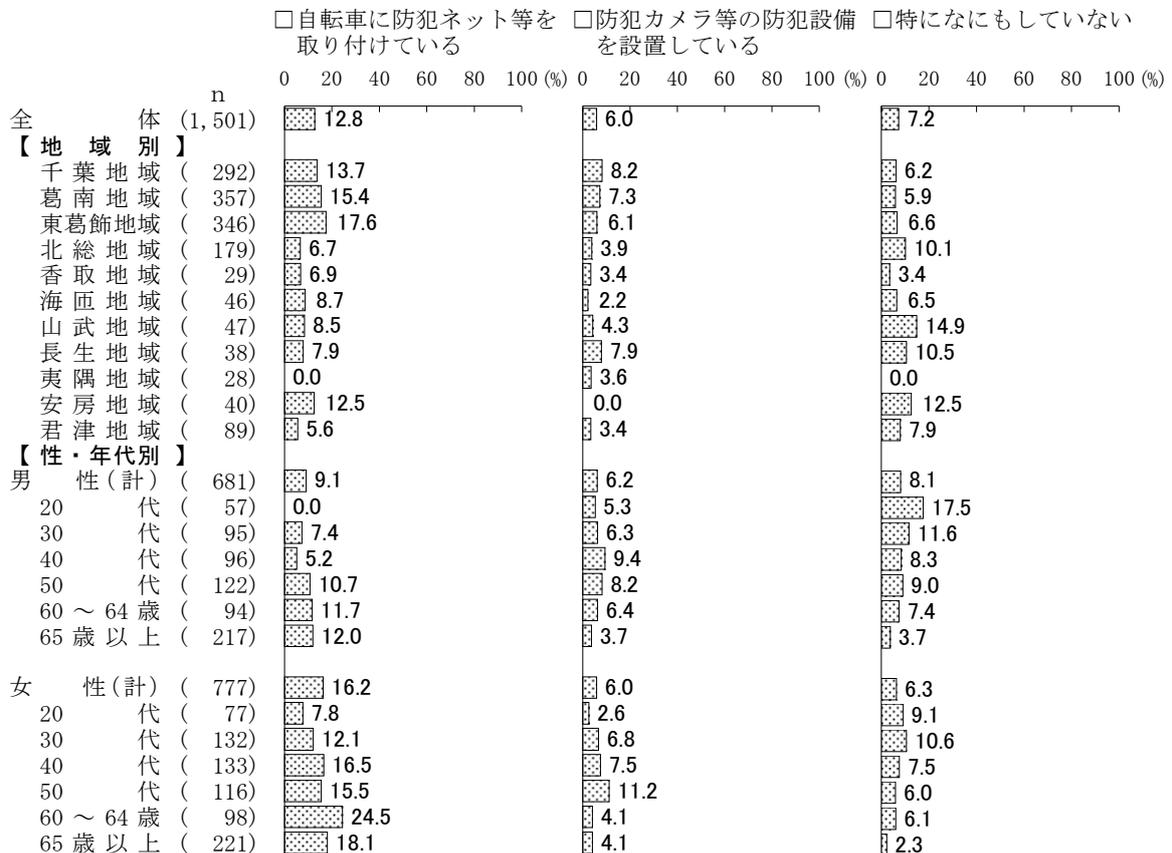
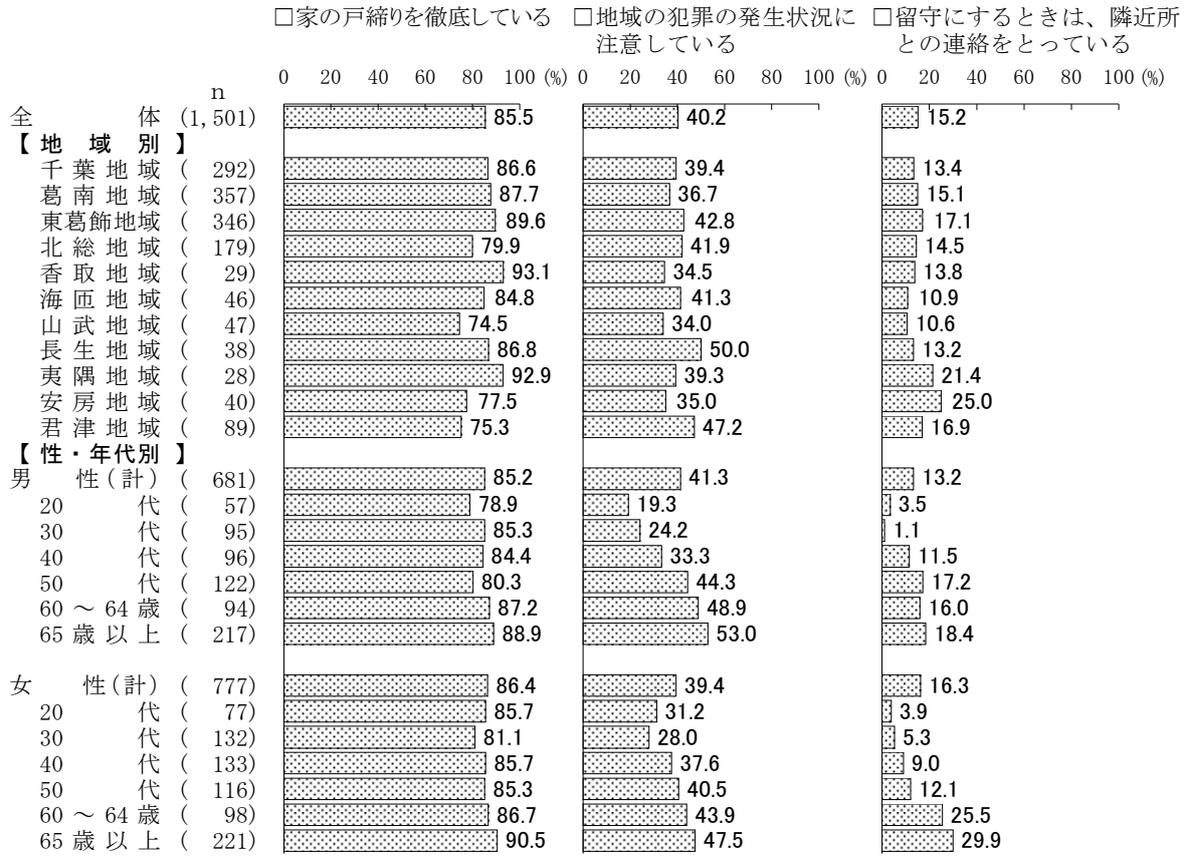
【地域別】

地域別にみると、「家の戸締りを徹底している」は“香取地域”(93.1%)と“夷隅地域”(92.9%)が9割を超え他の地域と比べて高くなっている。(図表 17-2)

【性・年代別】

性・年代別に見ると、「家の戸締りを徹底している」は男性60～64歳(87.2%)、男性65歳以上(88.9%)がともに約9割で他の年代と比べ高くなっている。また、女性65歳以上(90.5%)が9割で他の年代と比べて高くなっている。「地域の犯罪の発生状況に注意している」は男女ともに年代が上がるほど割合が高くなる傾向がみられる。(図表 17-2)

<図表 17-2> 犯罪に遭わないために心がけていること／地域別、性・年代別

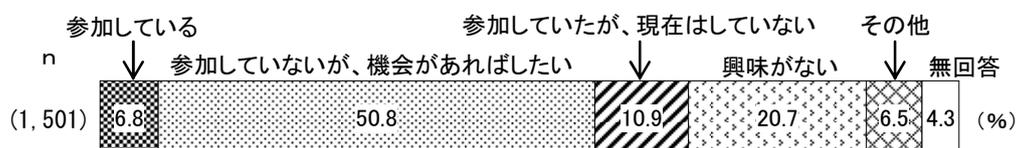


(4) 自主防犯活動への参加状況

◇「参加していないが、機会があればしたい」が5割

問18 あなたは、自主防犯活動等に参加していますか。(○は1つ)

<図表 18-1> 自主防犯活動への参加状況



自主防犯活動への参加状況を聞いたところ、「参加している」(6.8%)が1割未満、「参加していないが、機会があればしたい」(50.8%)が5割、「参加していたが、現在はしていない」(10.9%)が1割となっている。一方、「興味がない」(20.7%)が2割となっている。(図表 18-1)

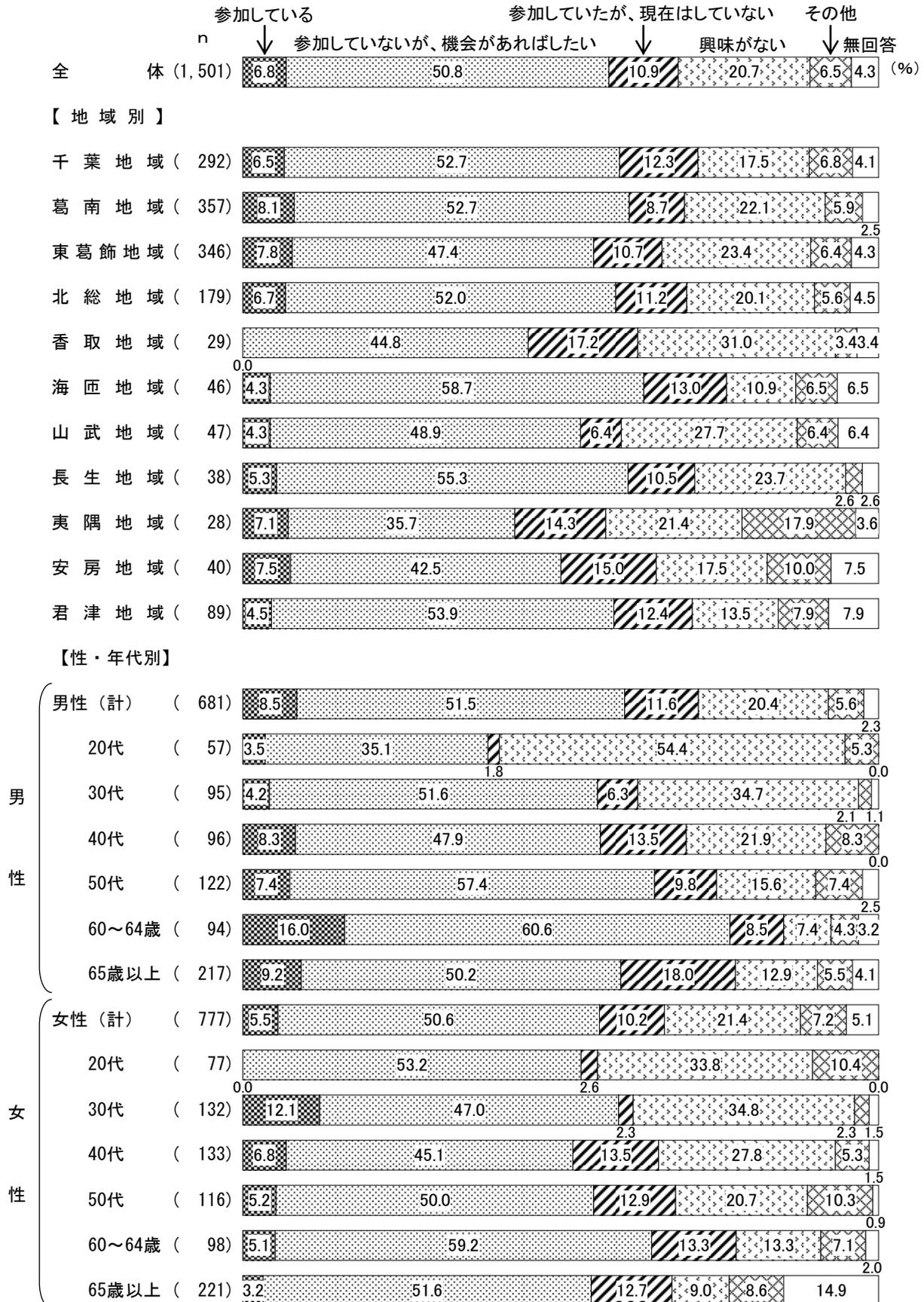
【地域別】

地域別にみると、「参加していないが、機会があればしたい」は“海匝地域”(58.7%)が約6割で他の地域と比べて高くなっている。(図表 18-2)

【性・年代別】

性・年代別に見ると、「参加している」は男性60~64歳(16.0%)の1割台半ばと女性30代(12.1%)が1割以上で他の年代と比べて高くなっている。「参加していないが、機会があればしたい」は男性60~64歳(60.6%)が6割で他の年代と比べて高くなっている。また、女性60~64歳(59.2%)が約6割で他の年代と比べて高くなっている。(図表18-2)

<図表 18-2> 自主防犯活動への参加状況／地域別、性・年代別



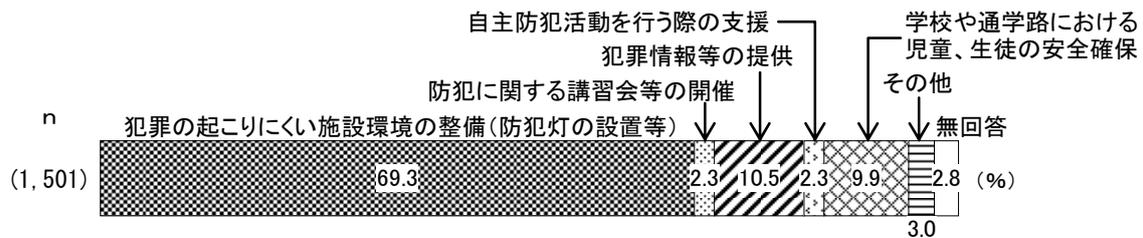
(5) 犯罪を防止するために、行政に望むこと

◇「犯罪の起こりにくい施設環境の整備（防犯灯の設置等）」が約7割

問19 あなたは、犯罪を防止するために、行政（警察を含む）に望むことは何ですか。

(○は1つ)

<図表 19-1> 犯罪を防止するために、行政に望むこと



犯罪を防止するために、行政に望むことを聞いたところ、「犯罪の起こりにくい施設環境の整備（防犯灯の設置等）」（69.3%）が約7割となっており、以下、「犯罪情報等の提供」（10.5%）、「学校や通学路における児童、生徒の安全確保」（9.9%）などが続く。（図表 19-1）

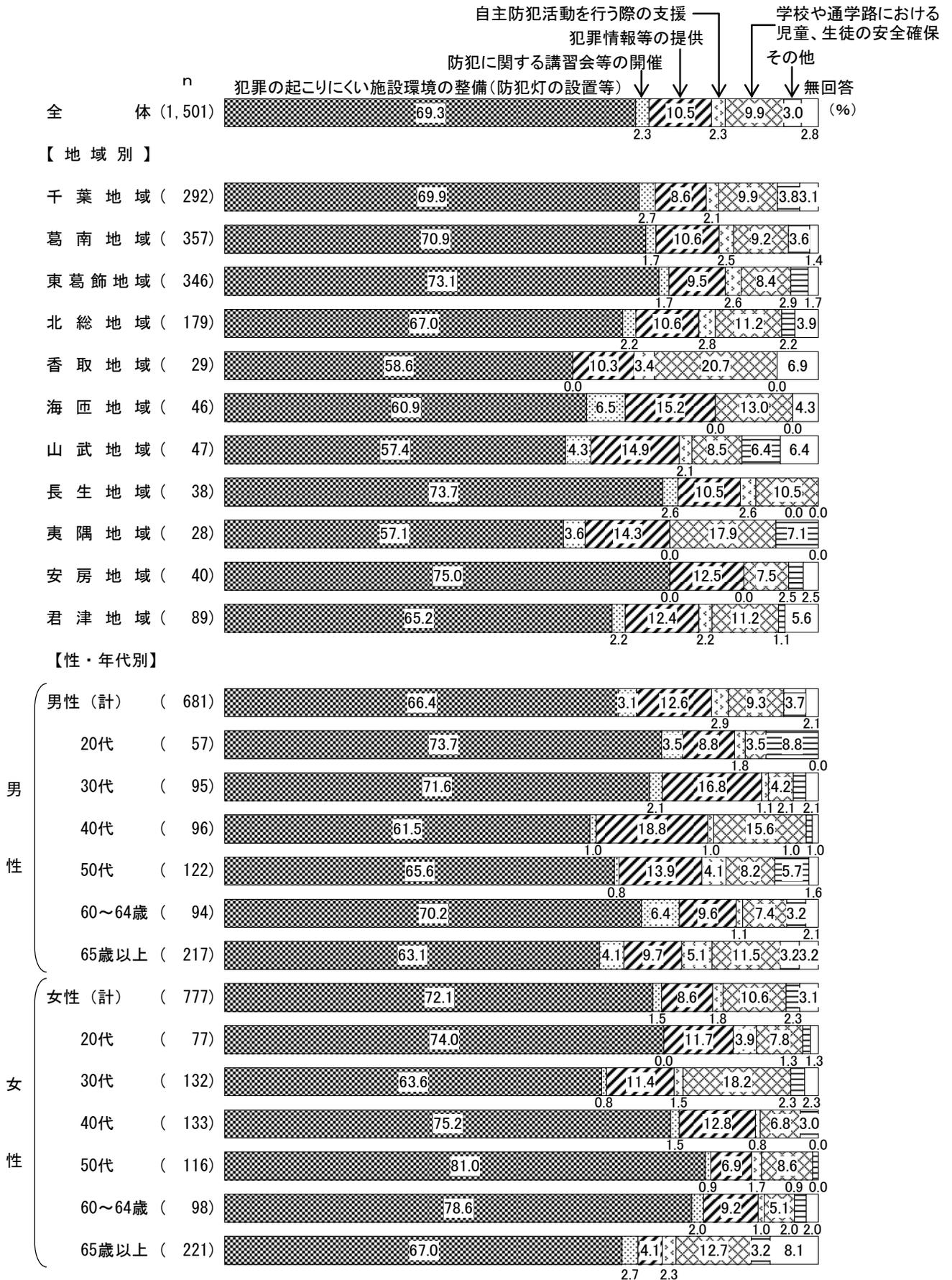
【地域別】

地域別にみると、「犯罪の起こりにくい施設環境の整備（防犯灯の設置等）」は“安房地域”（75.0%）が7割台半ばで他の地域と比べて高くなっている。（図表 19-2）

【性・年代別】

性・年代別に見ると、「犯罪の起こりにくい施設環境の整備（防犯灯の設置等）」は男性20代（73.7%）が7割台半ばで、女性50代（81.0%）が8割を超え他の年代と比べて高くなっている。「犯罪情報等の提供」は男性40代（18.8%）が約2割で他の年代と比べて高くなっている。（図表19-2）

<図表 19-2> 犯罪を防止するために、行政に望むこと／地域別、性・年代別

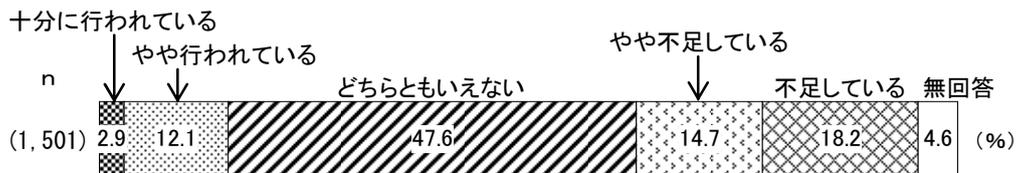


(6) 犯罪被害者に対する行政の支援策の充実度

◇『行われている』は1割台半ば

問20 あなたは、犯罪被害に遭われた方に対する行政（警察を含む）の支援策についてどう思いますか。（○は1つ）

＜図表 20－1＞犯罪被害者に対する行政の支援策の充実度



犯罪被害者に対する行政の支援策の充実度を聞いたところ、「十分に行われている」(2.9%)と「やや行われている」(12.1%)を合わせた『行われている』(15.0%)は1割台半ばとなっている。一方、「やや不足している」(14.7%)と「不足している」(18.2%)を合わせた『不足している』(32.9%)は3割を超えている。(図表 20－1)

【地域別】

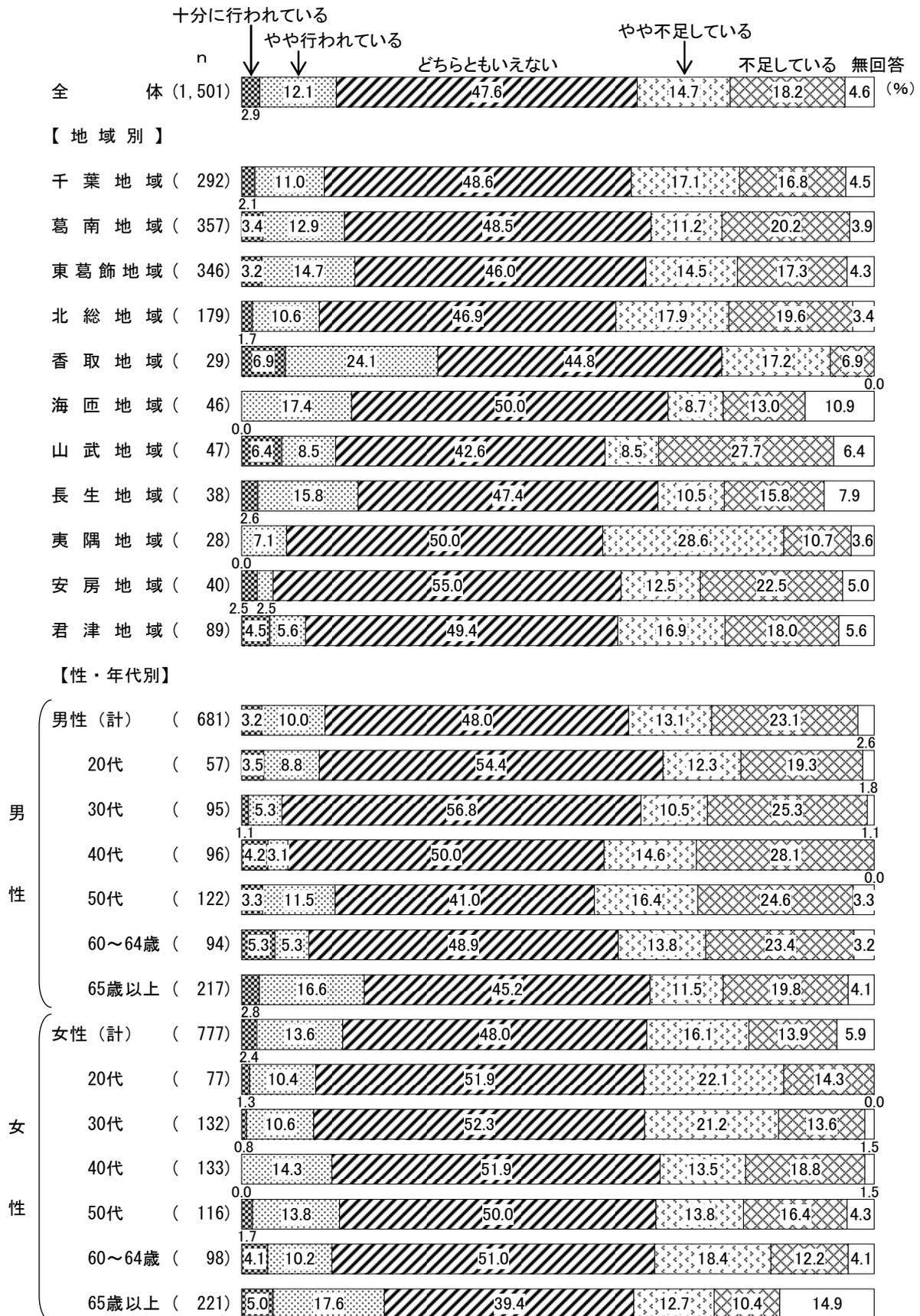
地域別にみると、『行われている』は“香取地域”(31.0%)が3割を超え他の地域と比べて高くなっている。『不足している』は“夷隅地域”(39.3%)と“北総地域”(37.5%)が約4割で他の地域と比べて高くなっている。(図表 20－2)

【性・年代別】

性・年代別に見ると、『行われている』は男性65歳以上(19.4%)が約2割で他の年代と比べ高くなっている。また、女性65歳以上(22.6%)が2割を超え他の年代と比べて高くなっている。『不足している』は男性40代(42.7%)と50代(41.0%)が4割を超え他の年代と比べて高くなっている。

(図表20－2)

<図表 20-2> 犯罪被害者に対する行政の支援策の充実度／地域別、性・年代別



問 「犯罪のない安全で安心なまちづくり」やここまでの質問（問15～問20）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、195 人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■ 「犯罪のない安全で安心なまちづくり」の自由回答(抜粋)

○近所でよく車上荒らし、又は、車の盗難、オートバイなどの窃盗など、夜中に起こる犯罪で悩まされています。実際、被害にも遭いました。それでも警察に届けを出しましたが、時間ばかりかかりなかなか犯人もつかまらず夜も眠れないなど、「安心」ではない日々を送った事もあります。もっと巡回や捜査・状況の報告など、もっともっと徹底してほしいと思うばかりです！！
(女性・20代・千葉地域)

○小・中・高校生の保護者（PTA）を活用した取り組みが必要と思います。例：PTAの地域の巡視など。（男性・50代・千葉地域）

○香取市では毎日夕方、住民にむけて放送が流れます。これをきくと私達も「皆で子ども達を守ろう！」「すてきな町になるように」と、あたたかいきもちにさせられます。田舎だからこそできることだとは思いますが、これからもかわらずにやってほしいと思いました。
(男性・50代・香取地域)

○私は見かけない車が駐車していたり、不審な行動をしている人がもしいたら、警察に連絡したいと思っています。皆で犯罪が起こらないように協力していきたい。
(女性・65歳以上・葛南地域)

○犯罪はなくなりません。犯罪をなくすより、犯罪者の罰則強化・再犯の抑制・犯罪者の住所の公表等と更生を目指した対処を望みます。（男性・40代・東葛飾地域）

○遅い時間帯にパトロール車が走っているのをみると、本当に安心します。是非、続けて頂きたいと思います。本当に御苦労様です。（女性・65歳以上・葛南地域）

○何か事件や事故が起きた時に被害者に対しケアするのは当たり前だが、現場の近くの住民も被害者と同じ位に不安な気持ちになっている事を忘れないでほしい。パトロールなどを行ってくれたり、声をかけたりしてくれるだけでも安心できるのに、そういう思いやりが感じられない。協力してほしい時だけ頭を下げるのではなく、日頃の接し方から考えてほしいと思う。
(女性・30代・東葛飾地域)

○交番の前を通るといつもパトロール中で、一人も警官がいません。常駐の方が一人はいられると安心です。犯罪が増えているのに、まだ人手不足なのではないでしょうか。
(女性・40代・千葉地域)

○警察によるパトロールの強化を望む。違法駐車取締りなどを行うことにより、ひったくり・スピード違反・空き巣なども減るのではないだろうか？かくれて取締るのではなく、目立つ見回りをしてほしい。（不明・不明・葛南地域）

○やはり、人の目が大切だと思います。となり近所・警察、昔のようには言いませんが、もう少し他の人に関心を持ってもらいたいのではないかと思います。（女性・60～64歳・千葉地域）